



まちのわだい



町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！

5/1



札内さかえ保育所

ベンチ寄贈

手製のベンチにぬくもりを感じて

幕別技能士会から、幼児用ベンチを2台寄贈していただきました。同会からは20年以上にわたり、本棚やベンチなどの手作りの木工製品を寄贈いただいています。今回いただいたベンチは、札内さかえ保育所で大切に使用させていただきます。そのほか同会では、刃物とき講習会もボランティア活動の一環で行っています。



5/3
4



道の駅・忠類

連休に多くの来場者でにぎわう

道の駅・忠類で、毎年恒例となっているGWイベント(主催:道の駅・忠類出店者の会)が開催されました。屋外では、飲食物の販売やハンドメイド雑貨の販売、地元を中心に活動するバンドによる演奏が行われ、多くの来場者を楽しませました。道の駅内に、会計待ちの行列ができるほど大盛況となりました。



4/20



春の全町一斉クリーン作戦

ごみのない、きれいなまちに

町民参加の清掃活動「全町一斉クリーン作戦」を稲志別・西和地区で行いました。参加者241人が汗をにじませながら収集したごみは、720kgにもなりました。

地道な活動ですが、まちをきれいにし、ごみを捨てづらい環境を作ることが大切です。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



4/20



アスリートと創るオリンピックの町創生事業

河村 美侑選手とバスケット

幕別町応援大使の河村 美侑選手(所属:新潟アルビレックスBBラビッツ)が、町内の少年団、札南ラビッツの子どもたち15人にバスケットボールの指導を行いました。

子どもたちは河村選手からドリブルやシュートなどの技術指導を受けたほか、ゲーム形式での交流を行いました。河村選手はシュートが決まると少年団員とハイタッチでコミュニケーションを取り、子どもたちは、間近で見るプロの技術に目を輝かせていました。

5/10



舞と歌のチャリティーの会
飯田町長 木川 茂男後援会長

チャリティー公演の収益を寄附

舞と歌のチャリティーの会に感謝状

舞と歌のチャリティーの会(運営:藤寿会後援会)から、チャリティー公演での収益を寄附していただきました。コロナ禍の中断を挟んで、5年振りの23回目となる公演が行われ、日本舞踊や歌などの舞台上で約350人の来場者を楽しませました。

これまでいただいた町への寄附金額は総額で330万円を超える額となり、飯田町長から後援会長の木川 茂男さんに感謝状を贈りました。いただいた寄附金は、地域で支えあう健康・福祉に関する事業に活用させていただきます。

5/18



白人小学校

町の花・芝桜を植えました

白人小PTAが毎年行っている校外環境整備の実施に併せ、今回初めて幕別町の町花である芝桜を花壇に植える取り組みを行いました。

好天で汗ばむ陽気の中、児童や保護者、地域住民を合わせて49人が集い、約3,000本の苗を校舎横の花壇に植えました。児童は、地域の方からの手ほどきを受け、一つひとつ丁寧な手つきで苗を植え、満足そうな笑顔を見せていました。来年には満開の芝桜が咲く予定です。

4/25



忠類中学校

かきゆり制作体験授業

忠類中学校で、忠類ゆり根耕作組合の「かきゆり制作体験授業」が行われました。生徒らは、ゆり根の鱗片を1つずつ剥がした後、忠類農協の施設で真空包装にするまでの作業を体験しました。また、玉では販売できないゆり根を「かきゆり」にすることで、捨てる部分を削減できることなどを学びました。



4/22



災害時における要配慮者の避難受け入れに関する協定締結式

災害時にも安心を

頭勝寺と「災害時における要配慮者の避難受け入れに関する協定」を締結しました。この協定は、非常時の要配慮者の避難先を確保することを目的としています。

町内で地震や火災等が発生した場合や、その恐れがある場合に、頭勝寺の本堂を一時的な避難所として提供していただけることになりました。

頭勝寺は施設全体がバリアフリーとなっており、31人が避難することが可能です。



▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

◆6月は環境月間です

国連では6月5日を「世界環境デー」と定め、日本でも環境基本法の中で「環境の日」と定めています。
また、6月の1カ月間を「環境月間」とし、全国でさまざまな行事が行われています。
幕別町では、春の全町一斉クリーン作戦の実施日から6月30日までを「幕別町春のごみ減量・リサイクル推進期間」とし、町全体で環境保全活動に取り組んでいますので、みなさん協力ください。

リデュース

- 買い物袋の持参
- 生ごみの水切り
- 食材の使いきり、料理の食べ切りによる食品ロスの抑制

全国で年間523万トンの食品ロスが生じています

生ごみは約80%が「水分」
→水を切って捨てるだけで減量化に!

リユース

- シャンプーなどの詰め替え品の購入によるボトルの再利用
- リターナブル容器の製品を選び、使い終わったらリユース回収へ出す
- 古着の再利用
→知人にあげる、小物入れや雑巾などへのリメイク
- リサイクルショップやフリーマーケットの利用

リターナブル容器とは、きれいに洗って再利用する容器のことです

リサイクル

- 資源ごみの正しい分別

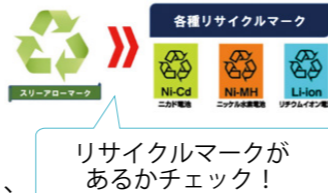
【ポイント】

- ①リサイクルマークに沿った分別
- ②汚れているものは水洗いをし、きれいにしてから捨てる
→食べ物や飲み物などの容器は汚れたままではリサイクルされません。汚れを落とすだけでリサイクル率の向上につながります。
- ③ペットボトルはラベルとふたを取る
→ラベルとふたは ごみです。

- 町内会の集団資源回収を活用
町では、町内会で行う集団資源回収に対し、1kg当たり5円の交付金を交付しています。町内会の運営資金となりますので、積極的に活用ください。

◆ごみ袋に小型充電式電池(バッテリー)を入れないで!

家電をごみ袋に入れて出す場合は、バッテリーを必ず取り外してください。
取り外したバッテリーやバッテリーを外せない家電は、役場防災環境課、忠類総合支所地域振興課、札内支所で回収しますので、持参ください。
バッテリーが混入していると、ごみ収集車やリリセンターでの火災の原因となり、大変危険です。分別に協力ください。



リサイクルマークがあるかチェック!

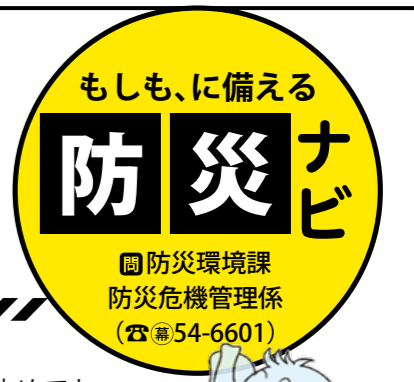
ごみ袋には入れないでください



テーマ 水害対策

「避難」とは「難」を「避ける」こと。 自身の避難方法を決めておきましょう!

国土交通省では、毎年6月を「水防月間」と定めています。(道外は5月)
水害から命を守るため、ハザードマップを基に自身の避難方法を前もって決めておくことが大切です。



避難方法にはどのようなものがあるんだろう?

- 避難所への避難
- 親戚・知人宅への避難
- ホテル・旅館への避難(宿泊料必要)
- 屋内安全確保(在宅避難)
- 車中避難

在宅避難や車中避難ってどんな避難方法なんだろう?

在宅避難について

- 災害時に安全な自宅生活を継続させる避難方法です。
- 普段の生活と変わらない環境で過ごすことにより、環境の変化によるストレスの軽減を図ることができます。
- トイレへの対策を徹底するとともに室内の安全性を確保しましょう。

車中避難について

- 災害時に、自分の車で安全な場所に待機する避難方法です。
- エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に注意し、食糧や飲料水をはじめ、照明器具などを準備しましょう。
- 帯広国際カントリークラブ、十勝ヒルズと防災協定を結んでおり、駐車場での車中避難が可能です。(受入開始の情報を確認した上で避難をしてください)

ただし、在宅避難が可能なのは3つの条件がそろったときだよ! 次の表で確認してみよう!

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することが可能です

- ①早期立ち退き避難必要区域に入っていない(入っていると...)
 - 流速が速いため、木造家屋は倒壊する恐れがあります
 - 地面が削られ家屋は建物ごと崩落する恐れがあります
- ②浸水深より居室が高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)
- ③水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと...)
 - 水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなる恐れがあります。
 - 食糧や水は1人当たり最低でも3日分、できれば1週間分程度を用意しましょう。

▶防災情報メール
二次元コードから、または次のアドレスへ空メールを送信し、登録ください。
touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

▶幕別町防災公式LINE
二次元コードを読み込み「友だちに追加」で登録ください。
ID検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu